

2014年1月9日

コーポレート・ガバナンスに関する最近の議論

何か起きているのか、社外取締役導入のみが問題となっているのか

～当分野の第一人者である弊社高山が貴社にうかがって、ご説明いたします～

2013年は、アベノミクスによる日本再興戦略のもとでのガバナンスの強化と成長戦略、会社法改正における社外取締役設置の議論、経営体制のグローバル化やそれを評価する新インデックスの登場など、大きな変化がありました。一方で、投資家側では、ショートターミズムの見直しや、企業へのエンゲージメント強化を念頭においた日本版スチュワードシップが、議論されています。このような動きは企業経営にも直結する変化であり、舵取り如何で今後の企業パフォーマンスに大きな影響を与えます。しかしながら、企業においては、実際何が起きているのか、戸惑っているケースが多く見られます。経営陣はもちろん、IRや経営企画、取締役会事務局の現場のご担当者にとっても、どこから手を付けたらよいのか、どのような優先順位で進めたらよいのか、頭が痛い問題ではないでしょうか。

貴社経営陣のご質問に答えます

このような皆様の懸念にお応えするために、これらの変化について世界の最先端の議論を行っているグローバル機関投資家の国際組織*で、現在ただ一人の日本人として理事を務めている、弊社のマネージングディレクター高山与志子が、①新しい展開・変化の背景、②日本およびグローバルのトレンド、③企業の経営陣としてまず考えるべきこと、④対応しないことで被る不利益・リスクの可能性、などについて整理してご説明いたします。貴社内での議論のため、高山が、貴社にうかがって、経営陣・ご担当者に直接ご説明し、ご質問をお受けいたします。

*ICGN(国際コーポレート・ガバナンス・ネットワーク)。ICGNは、本年3月3日、13年ぶりに日本において、東証のホスト・金融庁の後援のもと、国際会議を開催することになりました。

高山の略歴

東京大学経済学部卒、エール大学経営大学院卒 MBA 取得。東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了、博士号取得(社会情報学)。米国大手証券会社ニューヨーク本社投資銀行部門にて、日本企業の国内外での資金調達、M&A などに関するアドバイスをを行い、IRの分野へ。現在、コンサルティング部門の責任者として、敵対的買収時やプロクシーファイト(委任状闘争)の支援、TOB 関連支援、中期経営計画策定のアドバイス、コーポレート・ガバナンス、取締役会に関するコンサルティングなどを実施。著書多数。

フィーに関して

1回の派遣料金 20万円(消費税別) ※1時間半から2時間の時間を頂戴いたします。東京近郊以外は、2名分の実費(移動費)をお願いいたします。なお、弊社とお取引のある企業の皆様にはこの限りではございません。貴社担当とご都合の調整を、お願い申し上げます。

【お申込み・お問合せ先】ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社 TEL: 03-6860-8373

e-mail: 岩田 iwata@j-eurusir.com / 原山 harayama@j-eurusir.com

当社は、グローバル IR・議決権行使サポートの実績 No. 1 の独立系 IR 会社です。<http://www.j-eurusir.com>